

会議録

令和８年度第１回郡山市男女共同参画審議会を開催いたしました。その内容は、下記のとおりです。

会議名	令和８年度第１回郡山市男女共同参画審議会
開催日時	令和８年７月１７日（金）午後２時から午後３時２０分まで
開催場所	郡山市総合福祉センター３階 研修室（洋室２・３）
議長	郡山市男女共同参画審議会 会長 幕田 宙晃
出席委員	幕田 宙晃委員（会長）、渡邊 万里子委員（副会長）、阿部 初江委員、伊藤 龍太委員、後藤 秋夫委員、後藤 美津子委員、田中 竜夫委員、永島 恭子委員、邊見 昌喜委員、吉村 啓作委員
事務局	市民部長 大越 洋子 市民部次長 中村 勝子 ダイバーシティ推進課 課長 遠藤 真知子 課長補佐 植村 健 男女共同参画係長 武藤 美起子 主任 伊藤 恵子
次第	- 開会 - 会長挨拶 - 部長挨拶 - 議事 「第三次こおりやま男女共同参画プラン（改定版）」２０２５年度実施報告について 「第四次こおりやま男女共同参画プラン」２０２６年度実施計画について - その他 - その他 - 閉会
配付資料	・ 次第 ・ 郡山市男女共同参画審議会委員名簿 ・ 郡山市男女共同参画審議会規則 ・ 資料１「第三次こおりやま男女共同参画プラン（改定版）」２０２５年度実施報告 ・ 資料１－１【参考】「こおりやま男女共同参画プラン」について ・ 資料２「第四次こおりやま男女共同参画プラン」２０２６年度実施計画 ・ 資料２－１【参考】「第四次こおりやま男女共同参画プラン」について ・ 資料３「第四次こおりやま男女共同参画プラン」の概要 ・ 資料４ 郡山市女性委員登用率について ・ 資料５ 郡山市男女共同参画推進事業者表彰の募集について

1 開会 (司会：植村補佐)	郡山市男女共同参画審議会 委員 16 名中 10 名出席により会議成立
2 会長挨拶	幕田会長より挨拶
3 部長挨拶	大越部長より挨拶
4 議事 (議長：幕田会長) (1)2025 年度 実施報告について	(事務局) 「第三次こおりやま男女共同参画プラン（改定版）」2025 年度実施報告について説明 (田中委員) 資料 2 ページ基本目標 1 の⑥「家庭生活における男女の地位が平等である」と考える人の割合について 改定時 36.1%だったのが、最終年度 33.2%と数値が下がっている。この辺の要因について市として分析しているか。 (事務局) 要因の具体的な分析までは行っていないが、男女共同参画の意識が少しずつ浸透し、これまでは意識してこなかった事が「不平等であった」という気づきなども 1 つの要因として考えられる。 市民意識調査は 4 年ごとに実施しているが、今後はそういった要因なども踏まえた調査を実施してまいりたい。 (田中委員) 市民意識調査において、主な質問項目としては、この「家庭生活における男女の地位が平等であると考えるか」といった聞き方でいいが、それに付随する項目として、男性の家事と育児の負担の割合（1 日にどのぐらいの時間をかけているか）も併せて聞いてみると、より明確に家庭内での男女平等の進み具合がわかるのではないかなと思う。次回以降調査する時に、できる範囲で取り入れていただければと思う。 資料 3 ページ基本目標 2 の⑤パワハラ被害にあったことがあると答えた人の割合について 策定時にはパワハラが就業環境を阻害する大きな要因とみられていたことから取り上げられていたと思うが、今後は、今盛んに言われており、10 月から各企業で対応措置が義務化されるカスハラの問題についても考えていただけるとよい。

	パワハラに限らず、ハラスメント全体として調査した方が、より実態が見えてくると思う。 パワハラの実態としては、件数自体は減っている。ただ、これは、本当はしなければいけない適正な指導教育ができなくなってしまうことが大きな要因になっていると思う。パワハラを受けたと回答した人の中には、本当はパワハラには該当しないというケースもかなりの数があると思われる。パワハラにあったという数値だけではなくて、受ける側にも、こういった行為がパワハラに該当するのか、正確な知識を持っていただく機会を市でも設けていただくとよいと思う。 それにあたっては、社労士会でやっている働き方改革推進支援センターを利用していただくと無料で対応できるため、活用していただけるとよい。 (事務局) 委員のおっしゃるとおり、今年度からカスハラに対する事業者の取組も制度化されるため、パワハラだけではなく、ハラスメント全体としての調査等を検討してまいりたい。 また、市では管理職に対してパワハラとみなされない適正な指導法についての研修を実施しており、今後ともハラスメントの正しい理解に関して、市職員や民間企業に対する周知啓発等を図ってまいりたい。 (田中委員) 資料４ ページ基本目標３の⑦創業支援事業計画に基づく女性の支援者の累計数について 実績値 2,449 人とかなりの人数の支援をされているが、大変良い取組であるため、起業された数まで把握されておくとうよいと思う。 (田中委員) 資料５ ページ基本目標４の②認可保育施設の入所定員数について 保育所の話ではないが、先日の新聞記事から郡山市の放課後児童クラブの待機児童数が多かったように思う。 待機児童の数は、女性の活躍にも直結してくると思うので、女性活躍の観点から、今後はその辺についても留意するとよいのではないかなと思う。 (事務局) 郡山市では、待機児童の解消のため、様々な事業を実施しているところだが、待機児童数について今後把握してまいりたい。 放課後児童クラブ待機児童数の現状 29 人（５月１日時点）
--	--

	(田中委員) 資料5 ページ基本目標4 の⑤市職員における男性の育児休業取得率について 実績値 96.3%という数字であるが、取得者の大部分は産後パパ育休の取得者ではないかと推測する。一般企業の場合は実際にそうである。 産後パパ育休だけで終わってしまい、その後の本来の育休を取得されないとなると、男性が育児に関わる機会が本当に形成されないのではないかと危惧しているところである。 市では、こういった形の育児休業の取り方が多かったのか、またその取得期間について、見ていただく必要があるのではないかと考えている。 (事務局) 目標 10%以上という目標に対して、実績値 96.3%という高い数値ではあるが、実感としては、育休をとるに当たり職員全体がサポートするという意識の浸透は図られていると感じている。 また、代替職員の配置というサポート体制がしっかりしていることが、育休が取りやすい要因になっていると考える。 休暇期間は、個人によってまちまちかと思うが、2週間程度から1か月以上取っている職員もいる。 出産後は男性が育児に関わる非常に重要な機会という側面があることから、今後も職員が育休を取りやすい環境を進めていきたいと考えている。 (田中委員) 資料5 ページ基本目標4 の⑥多様な働き方に関する情報提供・啓発について 先程も紹介した働き方改革推進支援センター（厚生労働省委託事業）を活用いただくと支援が無料で受けられるため、市としてももっとプロモーションしていただけるとよいと思う。 (幕田会長) 資料3 ページ基本目標2 の①人権意識を高揚するための啓発人数の実績値が 4,000 人とあるが、ここでの啓発とは具体的に何を行ったのか。 (事務局) 市で開催するイベント等において、人権に関するチラシを配布することで、人権啓発を行っている。
--	---

	(田中委員) 資料３ ページ基本目標２の②人権に関する研修会の参加者数について LGBTQ+研修に加えて、障がい者や高齢者の方についても、取り上げていただけるとよいかと思う。 (事務局) 障がい者、高齢者の方については、障がい福祉課や地域包括ケア推進課の担当部署において、それぞれの個別計画に基づき、人権に関する取り組みも行っているところではあるが、関係部署と協力できる部分については検討を行ってまいりたい。 (田中委員) 各部署が主担当として取り組んでいることは承知の上だが、「ダイバーシティ」という側面から、ダイバーシティ推進課において、障がい者も高齢者も捉えられた方が全体を俯瞰してわかりやすくみられるのではないかと思った次第である。 (2)2026 年度 実施計画について (事務局) 「第四次こおりやま男女共同参画プラン」2026 年度実施計画について説明 (田中委員) 今年度からのプランの実施計画の内容を拝見すると、市での検討の上ではあるが、先ほど私が述べた質問や意見について、反映していただける余地があるように感じた。実施できるものについては反映していただけるとありがたい。 (3)その他 (田中委員) 男女共同参画のためには、女性にもっと活躍していただかなければならないというのが一番であり、そのためには、男性がもっとその意識に寄り添っていかなければならないと思う。 一番わかりやすいのは、先ほど述べたとおり、男性の育児休業取得率や取得期間が重要になってくると思う。 どうして男性が産後パパ育休にとどまり、本来の育児休業を取らないのかというと、その期間の収入が減ってしまうという事情が一番大きい。 できれば、市として、限られた予算の中ではなと思うが、収入の面で少しでも補償できるような制度、仕組みを考えていただけると、男性の育児休業の取得も向上するのではないかと思う。
--	---

	もう一つは、企業側から見ると、育児休業中の代わりとなる人をどうするかという問題になってくる。もちろん各企業が工夫を凝らして対応しなければならないが、それに並行して、市でもハローワークとの協力関係をうまく生かしながら、代替要員の確保といったところに対して、市内の各事業者が活用しやすいような制度を作っただけだとよいのではないかと思う。
6 その他	(事務局) ・郡山市女性委員登用率について ・令和8年度郡山市男女共同参画推進事業者表彰募集について ・庶務連絡
6 閉会	